

府中小コミュニティ・スクールだより

NO.7 令和8年10月14日 発行責任者 校長 青木 真智子



第2回府小っ子を育む会より

10月1日（木）に第2回府小っ子を育む会を開催し、9名の地域の町内会長の皆さんに来校していただきました。町内会の皆さんは、登下校の見守りや地域の行事に参加させていただくなど、日頃より、子供たちの日々の生活を支援してくださっています。

2校時の授業を参観していただき、その感想、本校の教育活動や地域での子供たちの様子などについてお話を伺うことができました。その一部を紹介します。

【授業参観の感想】

- 芸術鑑賞を見せてもらった。本物に触れる機会はとてもよい。外部の力を勝ちて子供たちに豊かな経験をさせることは大切だと感じる。
- 高学年の学習は今のニーズに合った内容で難しくなってくるが、子供たちが分かるように授業を工夫し、されている。
- 学級の掲示物はクラスカラーが表れている。学級で何を大切にし、どのような学級を目指しているかが伝わってくる。
- 学級の中で整理整頓がされており、環境が整えられている。
- 各階の図書コーナーは子供が本を読みたくなる、わくわくする環境に整えられている。

【地域での子供たちの様子から】

- 朝、子供たちの登校の見守りをしているが、自分から挨拶をするのは全体の3分の1の子供たちである。3分の2の子供たちは挨拶をしない。3人で歩いている子供たちがいたら、その中の一人が挨拶をすると残りの二人は挨拶をせずに通り過ぎる。
- 歩道を歩く時には、できるだけ車道から離れて歩いてほしい。

挨拶や歩道の歩き方については、子供たちの方に早速指導をしております。子供たちを温かく見守っていただいていることに感謝をしています。

これからもよろしくお願いします。



学校生活を支えていただいています！！

読書の楽しさに触れる読み語り

毎週金曜日、読み語りボランティアのひだまりの会の皆さんが来校し、二学年ごとに学年に合わせた様々な本の読み聞かせをしてくださっています。子供たちは、「今日はどんなお話だろう」と話に耳を傾けながら、静かに本の世界を楽しんでいます。こうした時間が、読書の楽しさにふれる大切な機会になっています。



校内がきれいになりました

9月25日（金）、29日（火）の2日間で85名の参観前お掃除ボランティアの皆さんが子供たちと一緒に掃除をしてくださいました。普段子供たちの掃除時間だけではなかなか手の届かない窓ガラスや教室内の高い所のほこり取り、廊下や手洗い場などきれいに掃除をしていただきました。

参加された方から「子供たちは一生懸命掃除をしていました。」「少しでも協力できてよかったです。」などの声を聞くことができました。子供たちもすがすがしい気持ちで授業に臨むことができました。



フラワーボランティアさんと一緒に作業

フラワーボランティアの皆様、学校の花壇やプランターの整備でご協力をいただいています。花の植え替えや水やり、草取りなどを通して、校内環境を美しく整えてくださっています。子どもたちは季節の移り変わりを感じながら、温かな環境の中で学校生活を送っています。先日はフラワーボランティアさんと栽培委員会の子供たちが一緒に花の苗の植え付けを行いました。「根をいためないように優しく取り出すんだよ」と植え方のコツを教えていただきながら子供たちは一つ一つの苗を植え付けていました。



ミシンでナップザック作り

6年生の家庭科では、ミシンを使ったナップザック製作に取り組んでいます。学習では、ミシンボランティアの皆様にご協力いただき、ミシンを使いまっすぐ縫うコツなどを一人一人に寄り添って教えていただいています。子供たちは、励ましを受けながら意欲的に活動し、ナップザックが形になっていく喜びを感じることができていました。

